

# 百尺竿頭

ひゃく しゃく がん とう



札幌市青少年山の家だより

第25号

平成24年(2012年)8月1日

札幌市青少年山の家  
社会教育専門職 工藤茂広

## ナイトプログラムがつむぐ絆 ～暗くある自由へ～

まぶたを閉じてみる。その瞬間、日常のあわただしさに埋もれがちな聴覚、嗅覚や触覚がふかく息をする。視覚優位とされる人たちに、見る自由により自由を奪われたほかの感覚たちを解放してくれる、闇という領域。

しかし、闇は、孤独な迷路や底知れぬ絶望を想像させる言葉でもある。それほどに怖れながら、なぜ人たちは闇に惹かれるのか。

☆

山の家では、毎晩のように、ナイトハイキングやキャンプファイヤーを楽しむ青少年の元気がこだましています。それは歓声であったり、ときに嗚咽であったり、実にいきいきとしています。火や自然とのふれあいは、日中のハイキングや野外炊事にもあるはずなのに、その様相はまったく異なります。

思うように見えない夜道。かすかな手がかりを頼りに、そこで暮らす命たちを押し量りながら、おぼろげと歩みます。ビックリさせようとして待ちひそむ仲間たちは別として、夜の自然を感じられるようになると、昼の自然をより厚く感じられるようになるかもしれません。

焚き火に照り映える顔々。一人一人の思いを届けあい、応えあう時空は、共に生きて在ること、生きて行くことを信じさせてくれます。そこには、漫画を読みながら食事をしていたり、テレビを観ながらメールを打っていたりするような、何かをしながら何かをしている人は見あたりません。

☆

人たちは豊かさを求め、自分が創出した義務や欲望により、自分をいそがしくしています。時折、人ということに疲れきり、人ということに冷やかな孤独を感じながら……。お互いに微笑みを失い、お互いの温もりを忘れた暮らしが、求めた豊かさではないことに人たちは気づいています。

そんな日常のただなかで、人たちは潤いを探しつづけ、やがて還るべき自然にたどり着きます。自然に踏みいれ、澄んだ空気につつまれながら静かに息をしていると、その一步一步、一息一息に、ありのままの自分を思い出します。自分が、いま、ここに生きていることの喜びに満たされます。

☆

暗くある自由のなかで、自分に気づき、自分をよみがえらせる遊び、それがナイトプログラムです。それぞれが微笑みを取りもどし、温もりを醸しだし、癒やしあう存在である仲間や自然との絆をつむぎます。そこに最新のケータイやパソコンなどありませんが、確かなつながりを感じることができます。

折しも、“テイデン”は計画されます。新たな世界の窓を開いた、あの3.11を思い起こさずにはいられません。それぞれの想いを胸に、2時間30分の闇を受け入れ、ゆるやかにつながってみませんか。一人一人の安らぎをつなぎ合って、みんなの平和と幸福を見つけましょう。

## 実施事業のご報告

### ■第2回自然観察ハイキング～さわやか夏のハイキング～ 7月1日(日)

大人向けコースと親子向けコースに分かれて実施し、合計35名が参加しました。

大人向けコースは、山の家自然観察ボランティアのガイドの元、せせらぎコースにて旬の植物を観察。親子向けコースは、山の家から展望台、こどもの谷へ向かうコースで、植物に触れながらハイキングを楽しみました。

毎回、大人から子どもまで楽しめると好評をいただいている自然観察ハイキングですが、次回は10月に実施いたします。



## 利用者アンケートより

○1校でゆったり使うことができ、とてもよかった。

○山の家の方が炊事の時に、しっかりついて下さったのが、とてもありがたかった。

▲以前配布されたDVDが現状と合っていない部分があるので、新たに作成していただけると、大変ありがたいのですが・・・。

⇒学校団体様向け「平成24年度利用案内DVD(夏編)」を作成いたしました。

貸し出しを希望される場合は、調整担当にお伝えください。

## 自然の 豆知識

### 北海道のカブトムシ

夏の虫の代表格で「昆虫の王者」の異名を持つカブトムシ。

見事な一本角と黒くて光沢のある姿は、クワガタムシと並んで人気の高い昆虫です。

ここ数年、北海道でも見られるようになりましたが、本来、北海道には自生していませんでした。なぜ北海道でも自生するようになったのかは諸説ありますが、発見した子どもたちが喜び一方で、外来種であるカブトムシが北海道の昆虫生態系を脅かす・・・という話も聞きます。

それでも、見つけられたらやっぱりうれしいカブトムシ。

滝野の森の中にも、カブトムシを発見することがあるかもしれませんが、しかし、滝野すずらん公園は動植物の採取は禁止していますので、もし見つけても、そっとしておいてくださいね。また、山の家のエントランスホールでも様々な生物を展示していますので、来館した際はぜひご覧ください。



発行者：札幌市青少年山の家  
指定管理者(財)札幌市青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地 (国営滝野すずらん丘陵公園内)  
電話 (011)591-0303 FAX(011)591-0394  
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>